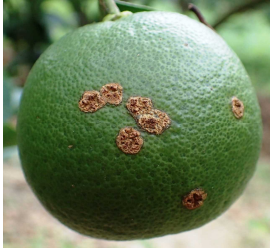
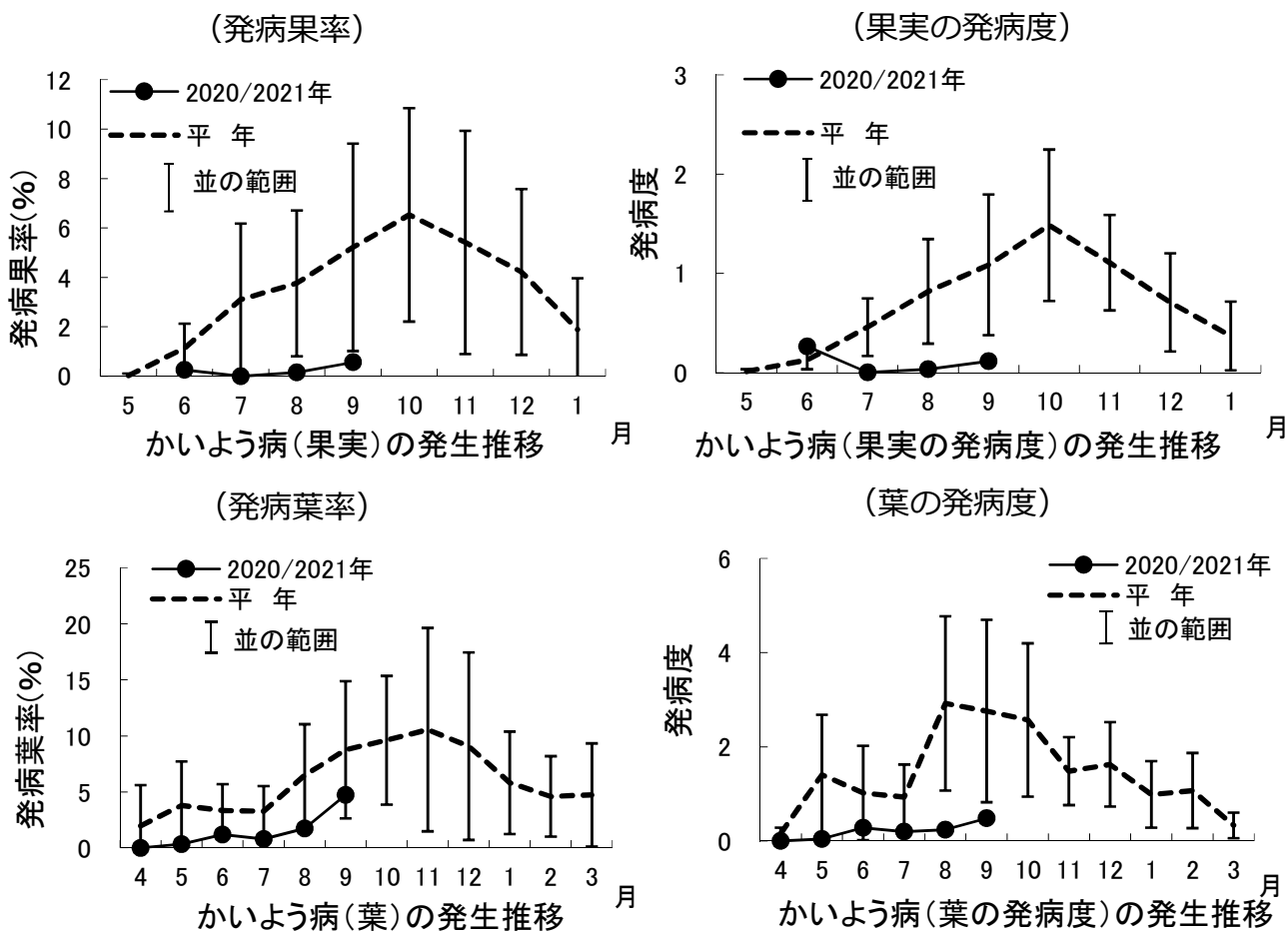


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	9 月の発生量 (平年比)	やや少	
予報	9 月からの増減傾向	↗	
		10 月の発生量 (平年比)	並
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果




防除のポイント

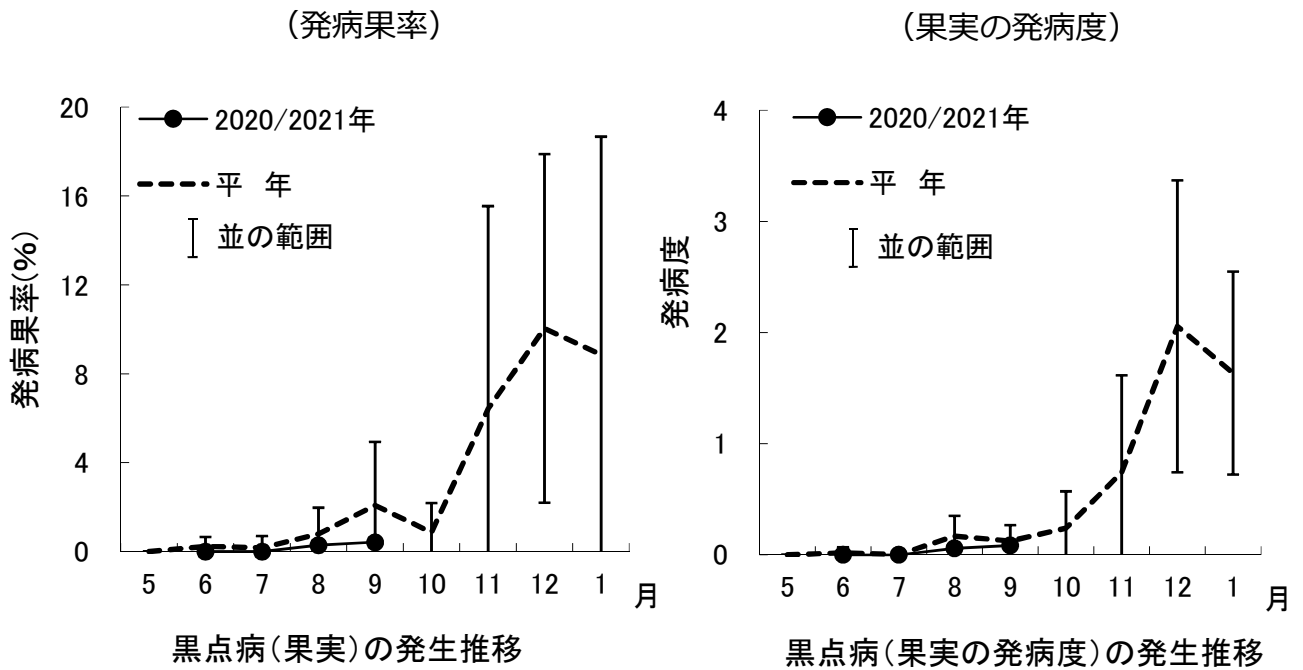
- ・罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口（風傷）は感染を助長することから、台風前後ともに薬剤防除を行う。
- ・本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。

被害葉→



作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② 黒点病		
調査結果	9 月の発生量 (平年比)	並	
予報	9 月からの増減傾向	↘	
	10 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)	


調査結果



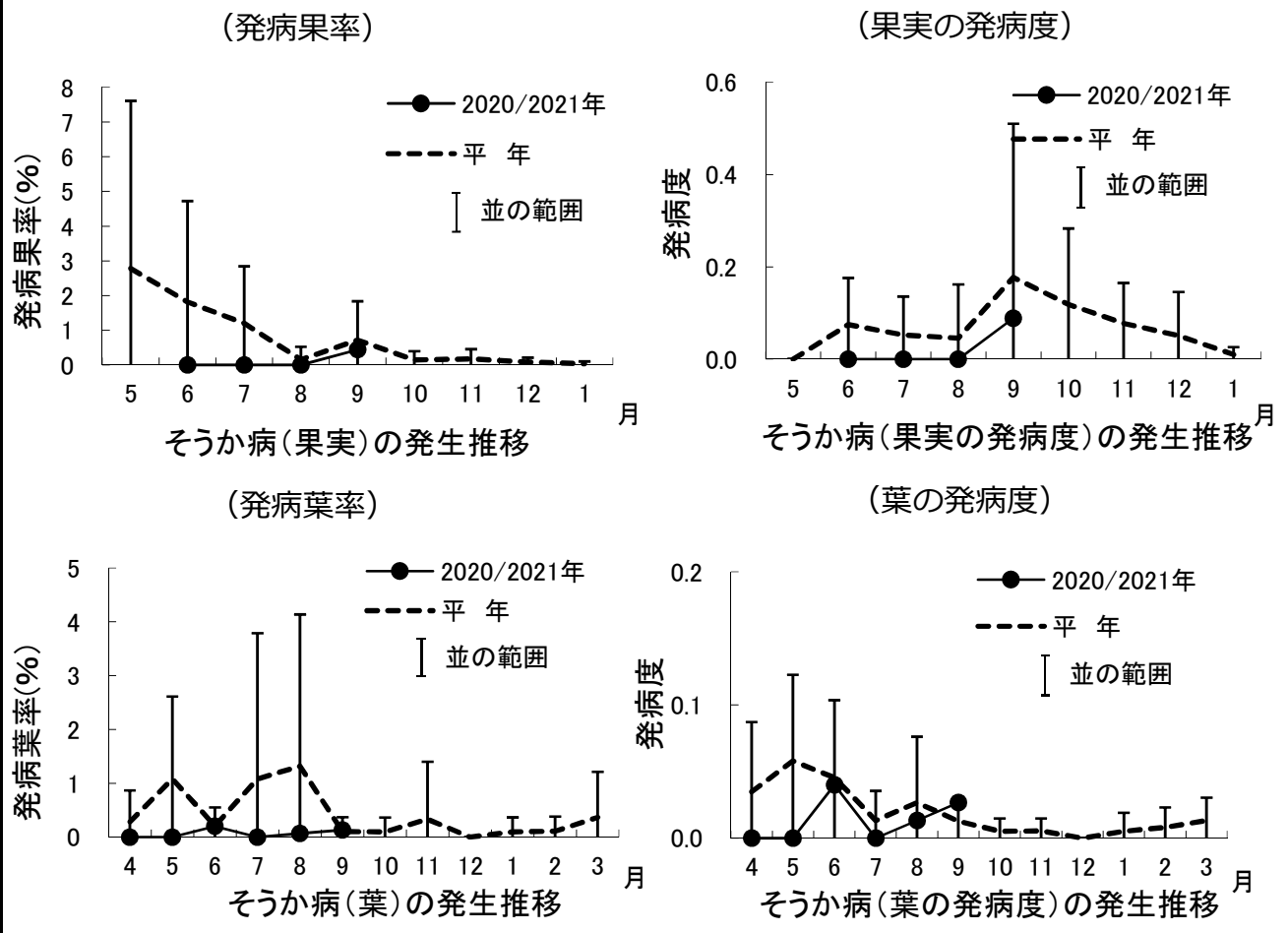
- ・ 発生ほ場率 : 40% (平年値 : 34.9%)

防除のポイント

- ・ 周辺の防風樹も含め、枯れ枝は除去する。
- ・ ほ場内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ そうか病		
調査結果	9 月の発生量 (平年比)	並	
予報	9 月からの増減傾向	↘	
	10 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)	

調査結果




防除のポイント

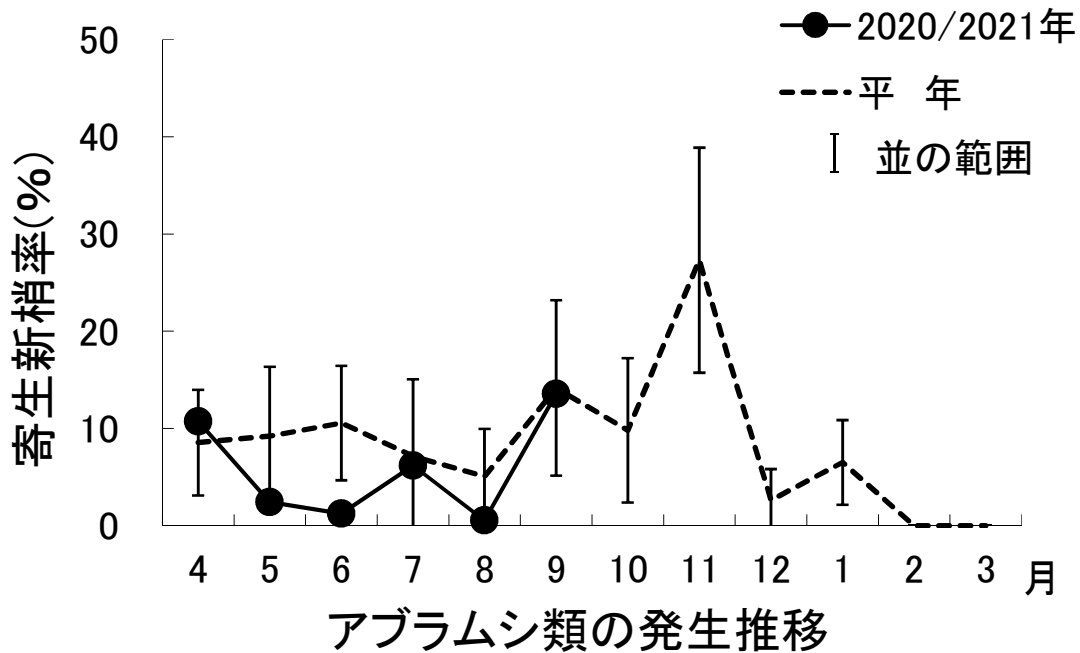
- ・罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

被害葉→



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	④ アブラムシ類		
調査結果	9 月の発生量（平年比）	並	
予報	9 月からの増減傾向	↘	
	10 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↘）	

調査結果




・ 発生ほ場率：75%（平年値：64.3%）

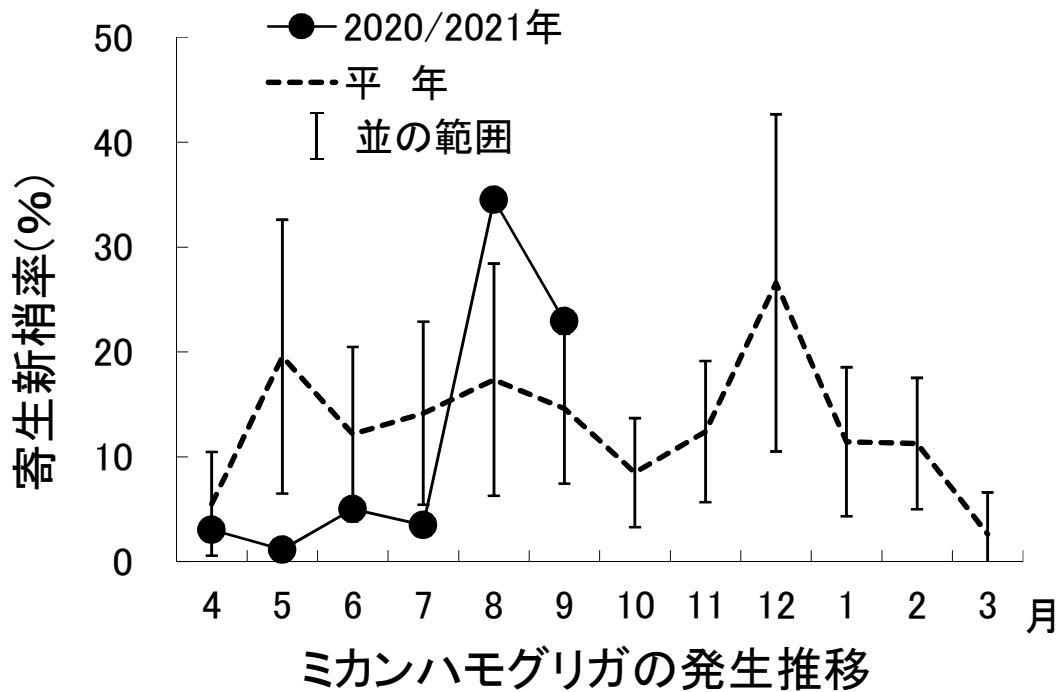
防除のポイント

- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	⑤ ミカンハモグリガ		
調査結果	9 月の発生量（平年比）	並	
予報	9 月からの増減傾向	↘	
	10 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↘）	


調査結果



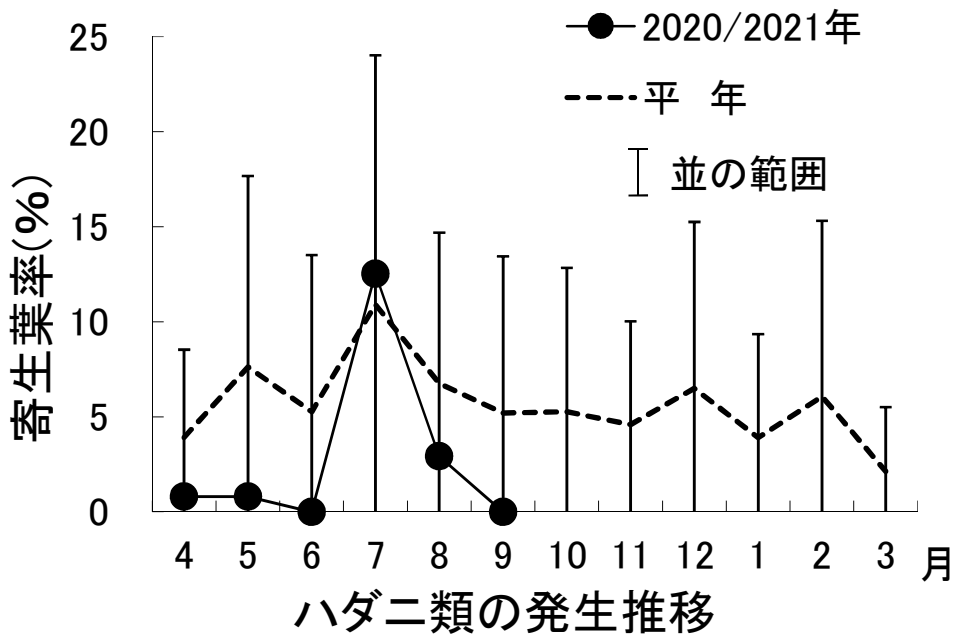
- ・ 一部ほ場で多発した
- ・ 発生ほ場率：75%（平年値：90.6%）

防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすく、伝染源になるので除去に努める。
- ・ 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ（タンカン）		地域	沖縄群島
病害虫名	⑥ ハダニ類			
調査結果	9 月の発生量（平年比）	(発生なし)並		
予報	9 月からの増減傾向	→		
	10 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）		

調査結果



・ 発生ほ場率：0%（平年値：25.6%）

防除のポイント

・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状